

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

スイス・グローバル・リーダー・ファンド（為替ヘッジあり）

各ファンドは特化型運用を行います

当資料は、よくあるお問い合わせを基に、主に販売用資料には記載されていない事項について記載したQ&A集です。

当資料では「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」および「スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)」を共に「スイスGL」と表記します。また、どちらか一方のファンドのみを示す場合は、正式ファンド名を明記します。

【 Q&A集：目次 】

【 1.ファンドの特徴等について 】

- 1-1.スイス株式指数の過去の中長期パフォーマンスは？・・・p.3
- 1-2.スイスGLのマザーファンドとスイス株式指数とのパフォーマンス差は？・・・P.3
- 1-3.組み入れ銘柄の地域別売上比率は？・・・p.4
- 1-4.新興国向けの売上比率は？・・・p.5
- 1-5.セクター構成比率は？・・・p.5
- 1-6.スイス国内の景気から大きな影響を受ける？・・・p.6
- 1-7.為替変動が基準価額に与える影響は？・・・p.6
- 1-8.スイスと日本の輸出企業では為替変動が企業業績に与える影響度合いが異なる？・・・p.7
- 1-9.スイス株式指数の配当利回りは？・・・p.7
- 1-10.スイス株式指数は割安？割高？・・・p.8
- 1-11.銘柄の入れ替え頻度は？・・・p.8
- 1-12.売買回転率は？・・・p.9
- 1-13.保有上位3銘柄における過去の保有比率の推移は？・・・P.9
- 1-14.スイス企業の業績推移と今後の予想は？・・・p.9
- 1-15.スイス株式指数と他資産指数の相関係数は？・・・p.10
- 1-16.為替ヘッジコストはどのくらい？・・・p.11

【 2.組み入れ銘柄について 】

- 2-1.組み入れ上位銘柄名や概要が知りたい・・・p.12
- 2-2.ネスレの企業業績と今後の予想は？・・・p.12
- 2-3.ロシュ・ホールディングスの企業業績と今後の予想は？・・・p.13
- 2-4.ノバルティスの企業業績と今後の予想は？・・・p.13

【 3.分配金について 】

- 3-1.次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？・・・p.14
- 3-2.これまでの分配実績は？・・・p.14
- 3-3.分配可能原資はどこでわかる？・・・p.15
- 3-4.普通分配金なのか特別分配金なのか？・・・p.15
- 3-5.配当金を受け取った方がいいか、それとも再投資した方がいいか？・・・p.15
- 3-6.分配金はいつ発表される？・・・P.15

【 4.基準価額の変動要因分析について 】

4-1.基準価額の変動要因が知りたい・・・p.16

【 5.ファンドの設計・構造等について 】

- 5-1.スイスGLの信託期間が短い理由は？・・・p.17
- 5-2.現時点で償還を検討している？・・・p.17
- 5-3.信託期間の延長はいつ決まるの？・・・p.17
- 5-4.信託期間を延長しないのはどういう場合？・・・P.17
- 5-5.どのくらいの純資産総額があれば運用できると考えている？・・・p.17
- 5-6.信託財産留保額って何？・・・p.17
- 5-7.信託財産留保額があるファンドは受益者にとって不利？・・・p.18
- 5-8.解約が増えることで純資産総額が減少すると基準価額も下がる？・・・p.18
- 5-9.基準価額にはいつ時点の株価や為替が反映されている？・・・p.19
- 5-10.為替ヘッジありと為替ヘッジなしの間でのスイッチングは可能？・・・p.19
- 5-11.基準価額が10,000円を大きく上回っていない理由は？・・・p.19
- 5-12.購入手数料は販売会社によって違うの？・・・p.19
- 5-13.1日あたりの信託報酬はどのくらい？・・・P.19
- 5-14.ファンドの設定や解約の申し込みを受付けない日は？・・・p.20

【 6.その他 】

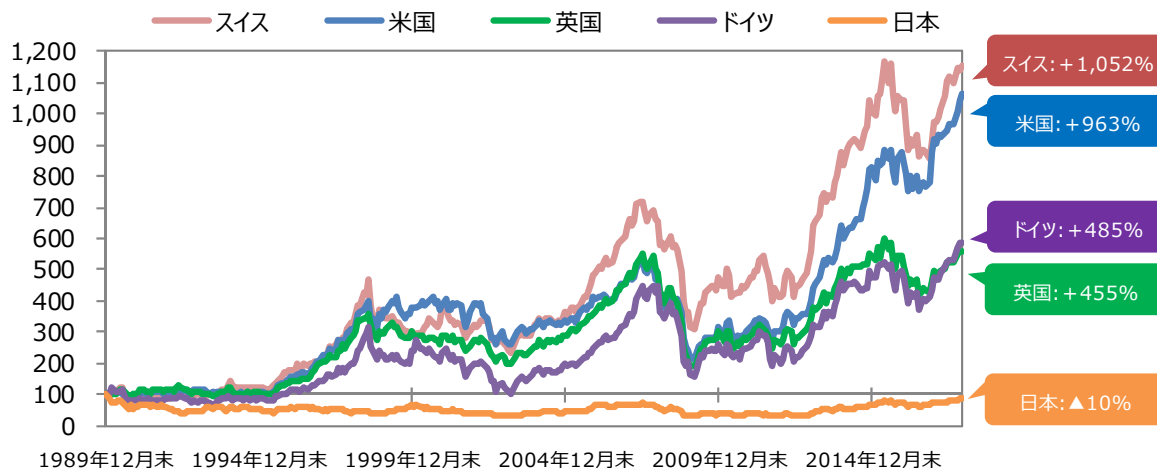
- 6-1.代表的なスイス株式指数とは？・・・p.21
- 6-2.ネットでスイス株式指数の価格や為替レートを確認する方法は？・・・p.21
- 6-3.基準価額は何時に発表されるの？・・・p.21
- 6-4.日経新聞の掲載名は？・・・p.21
- 6-5.日経新聞以外の新聞には基準価額が掲載されていないの？・・・p.21
- 6-6.スイスGLについて教えて欲しいことがある場合はどこに問い合わせればいいのか？・・・p.22
- 6-7.このファンドを購入して以来、どのくらいの損益額になっているのかが知りたい・・・p.22
- 6-8.先月の市場動向、運用状況、今後の見通しが知りたい・・・p.22

【 1.ファンドの特徴等について 】

1-1. スイス株式指数の過去の中長期パフォーマンスは？

→ スイス株式指数は中長期で堅調なパフォーマンスとなっています。

【 主要株式指数の推移(円換算ベース) 】



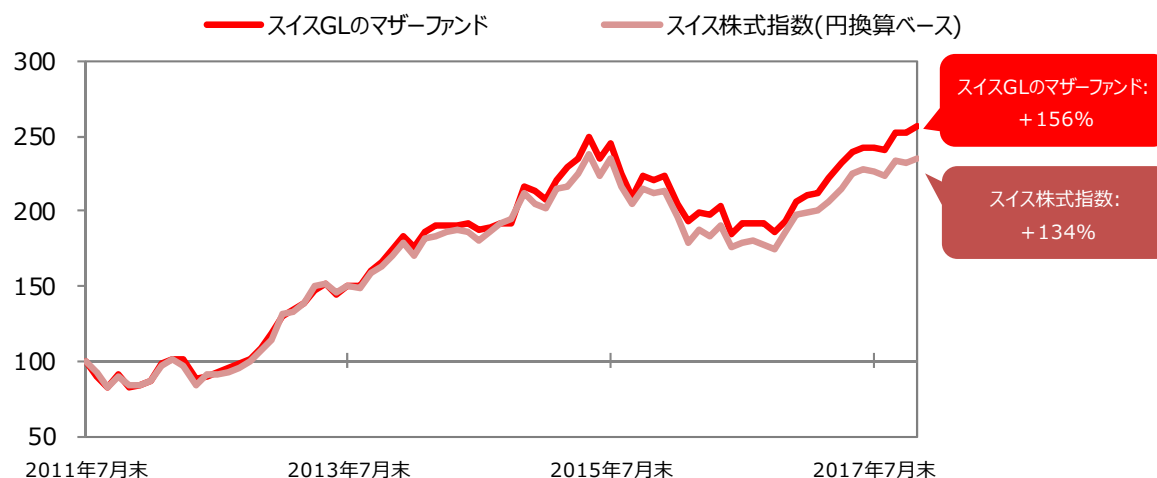
スイス株式指数は他の株式指数の収益率を上回っています。

・出所：Bloombergより作成
 ・期間：1989年12月末～2017年11月末 ※1989年12月末=100として指数化
 ・スイス：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国：S&P500指数、英国：FTSE100指数、ドイツ：DAX30指数、日本：TOPIX (いずれの指数も円換算のトータルリターンベース)

1-2. スイスGLのマザーファンドとスイス株式指数のパフォーマンス差は？

→ スイスGLが組み入れているマザーファンドの設定日である2011年7月29日以降、マザーファンドのパフォーマンスは円換算ベースのスイス株式指数のパフォーマンスを上回っています。

【 スイスGLのマザーファンドとスイス株式指数(円換算ベース)の推移 】



2011年7月末以降、マザーファンドはスイス株式指数を+22%上回っています。

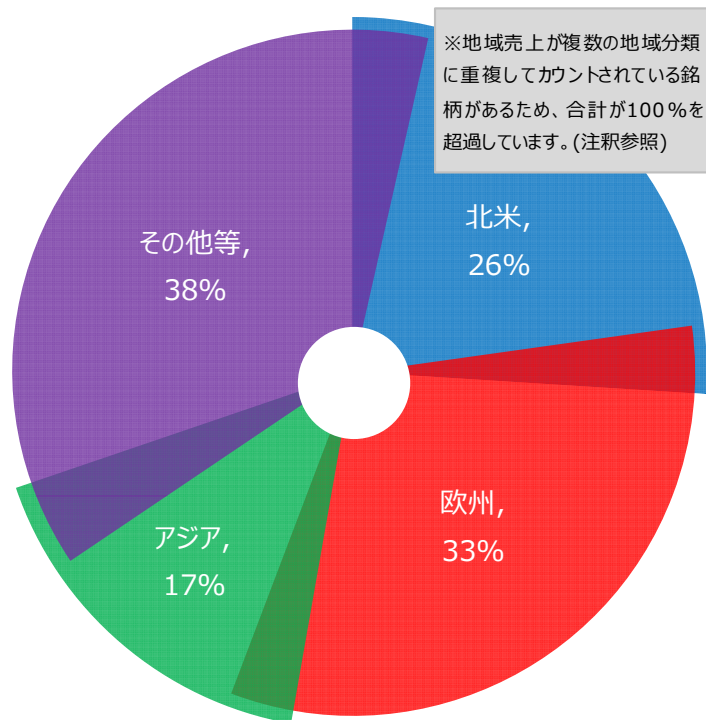
・出所：Bloomberg等より作成
 ・期間：2011年7月末～2017年11月末
 ・スイスGLのマザーファンドの設定日である2011年7月末=100として指数化
 ・スイス株式指数：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)(円換算のトータルリターンベース)

1-3.組み入れ銘柄の地域別売上比率は？

→2017年11月30日時点におけるスイスGLの地域別売上比率(イメージ図)は下記の通りとなっており、各地域から概ねバランス良く売上をあげていることが見て取れます。

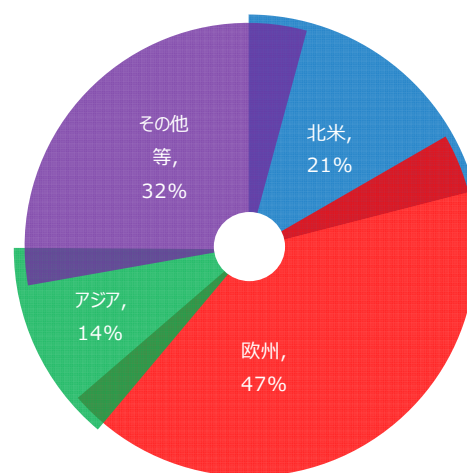
【 スイスGLの地域別売上比率:イメージ図 】

(保有比率加重平均ベース)



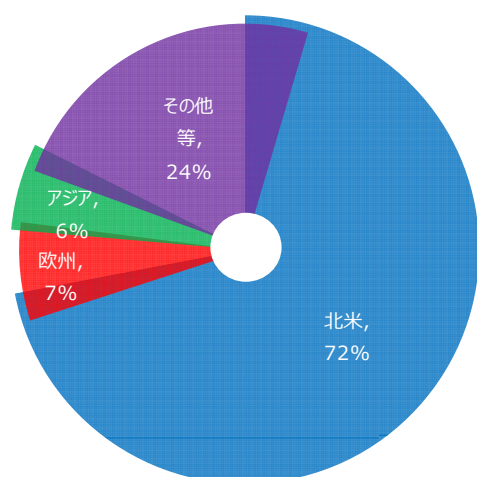
【 スイスの地域別売上比率:イメージ図 】

スイス

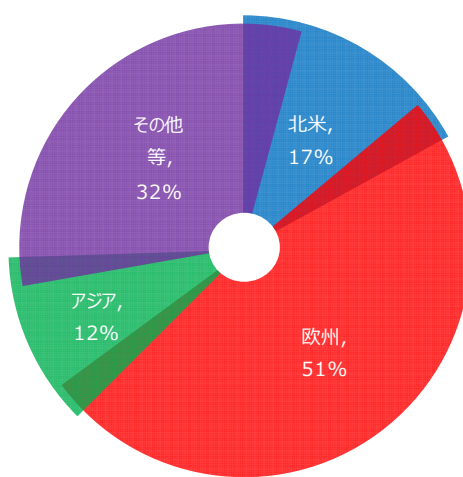


【 主要株式指数の地域別売上比率:イメージ図 】

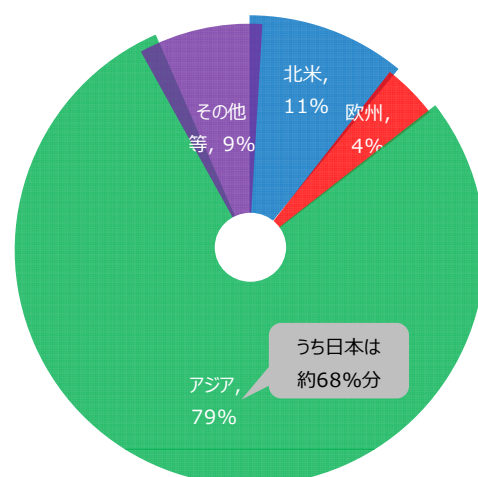
米国



欧州



日本



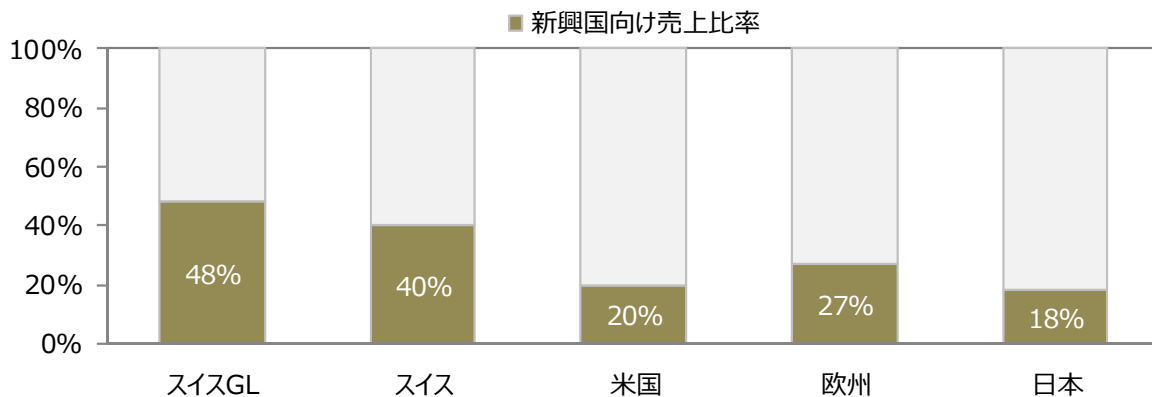
・スイス：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国：S&P500指数、欧州：EURO STOXX 50指数、日本：TOPIX

上記は2017年12月1日時点でトムソン・ロイターから取得したスイスGLのマザーファンドの構成銘柄または当該株式指数(2017年11月30日時点)の直近決算期の売上高データを基に当社が独自に簡便的な計算方法で算出した地域別売上比率(保有比率加重平均ベース)であり、実際の比率を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。当該分類地域を一部でも含むと考えられる地域分類の売上高から比率を計算しているため、銘柄によっては当該分類地域以外の売上高が比率計算に使用されている場合があり、比率の合計が100%を超過しています。(例えば、「Europe and Middle East」という地域分類の売上高が開示されていた場合、当該売上高は上記の「欧州」と「その他」の両方の地域売上比率の計算に使用されることになります)

1-4.新興国向けの売上比率は？

→2017年11月30日時点におけるスイスGLの新興国向け売上比率は下記の通りとなっています。スイスGLの新興国向け売上比率はスイス、米国、欧州、日本と比較して高く、高成長が期待される新興国からの恩恵をより享受できることが期待されています。

【 新興国向け売上比率:イメージ図 】



スイスGLの保有により、先進国企業への投資で新興国の成長も享受することが期待できます。

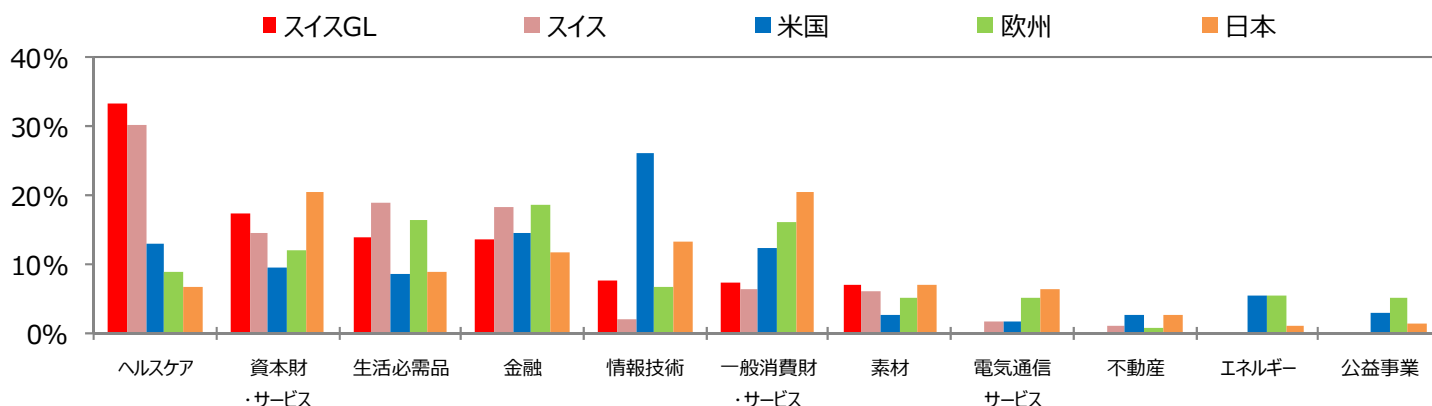
・スイス：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国：S&P500指数、欧州：EURO STOXX 50指数、日本：TOPIX
 ・新興国はOECD加盟国以外の国としています。

上記は2017年12月1日時点でトムソン・ロイターから取得したスイスGLのマザーファンドの保有銘柄および当該株式指数(2017年11月30日時点)の構成銘柄における直近決算期の売上高データを基に当社が独自に簡便的な計算方法で算出した新興国向け売上比率であり、実際の比率を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。当該分類地域を一部でも含むと考えられる地域分類の売上高から比率を計算しているため、銘柄によっては当該分類地域以外の売上高が比率計算に使用されている場合があります。なお、スイスGLのマザーファンドの比率は保有比率加重平均ベースとなっています。

1-5.セクター比率は？

→2017年11月30日時点におけるスイスGLのセクター比率は下記の通りとなっています。スイスGLはスイス、米国、欧州、日本の株式指数と比較して、景気に大きく左右されにくいと言われるヘルスケアといったディフェンシブセクターの比率が高いことが特徴です。

【 セクター比率 】



・出所：Bloombergより作成

・基準日：2017年11月30日

・スイス：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国：S&P500指数、欧州：EURO STOXX 50指数、日本：TOPIX

スイスGLは組み入れマザーファンドの基準日における保有銘柄のGICSセクターや保有比率を基にセクター比率を計算、各株式指数は基準日における各構成銘柄のGICSセクターや時価総額を基にセクター比率を計算しています。

1-6. スイス国内の景気から大きな影響を受ける？

→「1-3. 組み入れ銘柄の地域別売上比率は？」(p.4)でご覧頂いた通り、欧州からの売上比率は33%程度であり、その中でスイス国内での売上は更に限定的であるため、スイス国内の景気からの直接的な影響は大きくないと思われます。当ファンドは特定地域からではなく、世界経済全体からの影響を受けることが特徴です。

1-7. 為替変動が基準価額に与える影響は？

→スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)では為替ヘッジを行ってスイスフラン/円の為替変動が基準価額に与える影響を低減する運用を行っていますが、為替ヘッジを行っていないスイス・グローバル・リーダー・ファンドではスイスフラン/円の為替変動によって基準価額が変動します。

しかしながら、為替ヘッジを行っていても、下記に記載の通り、基準価額に与える影響はある程度相殺されることが期待されます。

<スイスフランが日本円等の他通貨に対して安くなった場合>

- ① スイス国外で稼いだ利益を決算期末にスイスフランに換算した場合の利益額が増加 ⇒ **株価の上昇要因**
- ② スイスGLがスイスフラン建てで保有しているスイス株式を円換算した場合の価値が減少 ⇒ **基準価額の下落要因**

↓
基準価額はやや下落

<スイスフランが日本円等の他通貨に対して高くなった場合>

- ① スイス国外で稼いだ利益を決算期末にスイスフランに換算した場合の利益額が減少 ⇒ **株価の下落要因**
- ② スイスGLがスイスフラン建てで保有しているスイス株式を円換算した場合の価値が増加 ⇒ **基準価額の上昇要因**

↓
基準価額はやや上昇

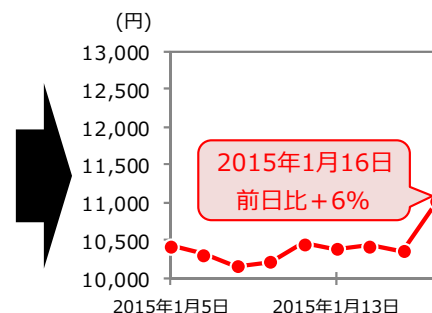
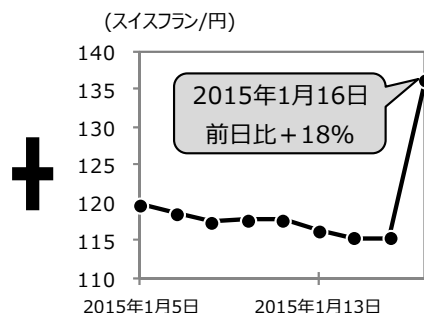
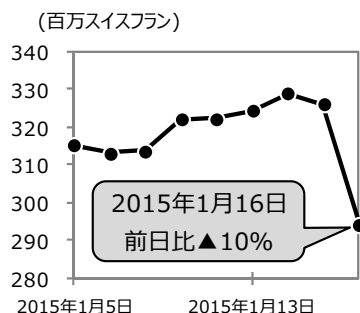
上記は当資料作成時点での情報を基に簡便的に解説したイメージあり、全てを正確に説明したものではありません。

たとえば、2015年1月16日にスイスフランが他通貨に対して大きく上昇した際、現地通貨ベースでのスイス株式価格は大きく下落しましたが、円換算価値の増加によってスイスGLの基準価額はやや上昇しました。

【 スイス株式 】

【 スイス/円 】

【 スイスGLの基準価額 】



・出所： Bloomberg等より作成

・期間： 2015年1月5日 ～ 2015年1月16日 ・スイス株式の日付は当該値が基準価額に反映されるベース

・スイス株式はスイスGLのマザーファンドにおける保有銘柄の時価合計(保有株式数は2015年1月5日時点、スイスフランベース)

基準価額が常に上記のように動くわけではなく、為替変動からの影響を理解するための一例です。

1-8. スイスと日本の輸出企業では為替変動が企業業績に与える影響度合いが異なる？

→一概には言えませんが、国内で生産した製品を海外で売る場合と現地で生産した製品を現地で売る場合では、為替変動が企業業績に与える影響は大きく異なります。

たとえば、国内で生産した製品を海外で売る場合、主な製造コストが自国通貨で売価は現地通貨となるため、国内通貨が上昇した場合にはコストは大きく変わらないものの換算売上額を維持するためには売価を引き上げる必要があります。そのため、売価を引き上げたことによる価格競争力の低下、または売価を維持したこと自国通貨に換算した利益が減少することになります。そのため、たとえば10%の自国通貨高で利益が全てなくなるといふこともありえます。

一方、現地で生産した製品を現地で売る場合、主な製造コストと売価の両方が現地通貨となるため、自国通貨が上昇した場合の影響は海外で稼いだ利益を自国通貨に換算した場合に目減りするといふ程度になります。そのため、例えば10%の通貨高であれば利益の10%程度が減少するにとどまることになります。

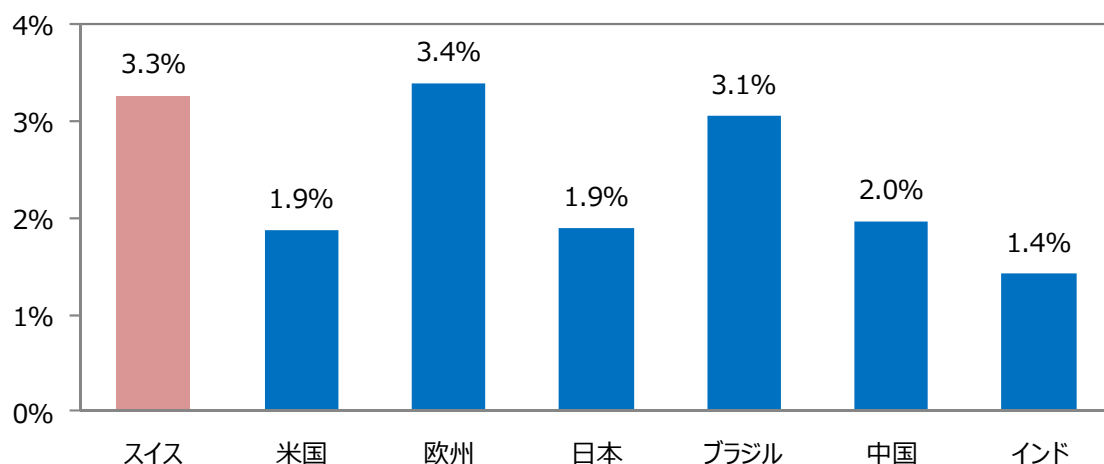
スイス企業は日本企業に比べて海外で稼ぐ比率が高いですが、現地で生産して現地で販売している比率も高いため、日本企業と比べて為替変動が企業業績に与える影響は比較的小さいと考えられます。

上記は当資料作成時点での情報を基に簡便的に解説したイメージあり、全てを説明したものではありません。

1-9. スイス株式指数の配当利回りは？

→スイス株式指数の予想配当利回りは下記の通りです。

【 主要株式指数の予想配当利回り 】



スイス株式指数の予想配当利回りは米国株式指数や日本株式指数に比べては高く、欧州株式指数とほぼ同水準となっています。

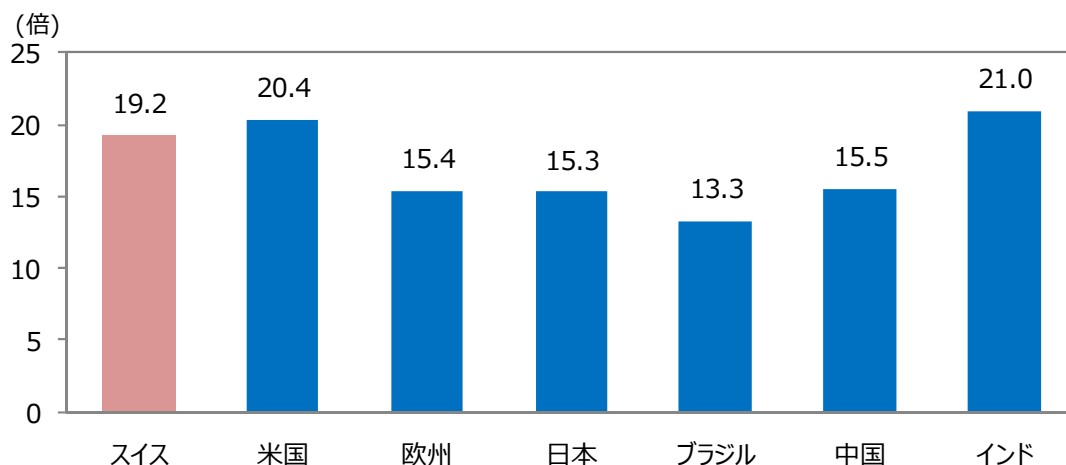
- ・出所: トムソン・ロイターより作成 (予想配当利回りは 2017年11月30日 時点のFY1予想DPSに基づいて算出)
- ・基準日: 2017年11月30日
- ・スイス: SMI(スイス・マーケット・インデックス)、米国: S&P500指数、欧州: EURO STOXX 50指数、日本: TOPIX、ブラジル: MSCI BRAZIL、中国: MSCI CHINA、インド: MSCI INDIA

各MSCI指数は、MSCIが開発し、算出している株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCIに帰属します。

1-10. スイス株式指数は割安ですか？ 割高ですか？

→一般的に割安度を示すと言われているPER(株価収益率:株価÷一株あたり利益で計算され、値が小さいほど割安であることを示します)は下記の通りです。スイス株式指数のパフォーマンスは長期に渡って概ね堅調ですが、高い成長性等により、割安度は他株式指数から大きく見劣りする水準とはなっていないと言えます。

【 主要株式指数のPER 】



スイスのPERは日本に比べるとやや高いですが、米国に比べるとやや低くなっています。

・出所: トムソン・ロイターより作成 (PERは 2017年11月30日 時点のFY1予想EPSに基づいて算出)

・基準日: 2017年11月30日

・スイス: SMI(スイス・マーケット・インデックス)、米国: S&P500指数、欧州: EURO STOXX 50指数、日本: TOPIX、ブラジル: MSCI BRAZIL、中国: MSCI CHINA、インド: MSCI INDIA

各MSCI指数は、MSCIが開発し、算出している株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCIに帰属します。

1-11. 銘柄の入れ替え頻度は？

→スイスGLはスイス証券取引所に上場する銘柄(約240銘柄)のうち、世界No.1のリーディングカンパニー*である約80銘柄から20~30銘柄に集中投資を行うファンドであり、銘柄の見直しや保有比率の調整等は随時実施しているものの、過去には頻繁な銘柄入れ替えは行っていません。

設定日翌月末以降の76ヶ月において、月末基準ベースで新規に購入した銘柄は1ヶ月平均で0.9銘柄、保有株数を全て売却した銘柄は1ヶ月平均で0.7銘柄となっています。

【ご参考】

【 2017年に新規購入した銘柄 】

・スウォッチ・グループ、フィナンシエール・リシュモン、OCERICON、オートニウム・ホールディングス、ブーハー・インダストリーズ、アデコ、ジボダン、フォルボ・ホールディング、スルザー、SFSグループ、Landis+Gyrグループ

【 2017年に全部売却した銘柄 】

・OCERICON、オートニウム・ホールディングス、アデコ、ユー・ブロックス・ホールディングス、アクテリオン、SGS、リンツ&シュブルングリー、シンジェンタ、ラファージュホルシム

*「世界No.1のリーディングカンパニー」とは「ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー」による調査・分析の結果、特定の分野で売上高等がトップシェアを有すると認められる企業を指します。ユニバースは状況に応じて変わります。また、ユニバースは全ての世界シェアNo.1のスイス企業を網羅しているわけではありません。

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

1-12. 売買回転率は？

→過去1年間(2016年12月～2017年11月)における保有スイス株銘柄の売買回転率は27%でした(平均すると概ね4年間は同一銘柄を保有する計算になります)。相場環境や見通し等にもよりますが、当ファンドでは比較的中長期間保有する傾向にあります。

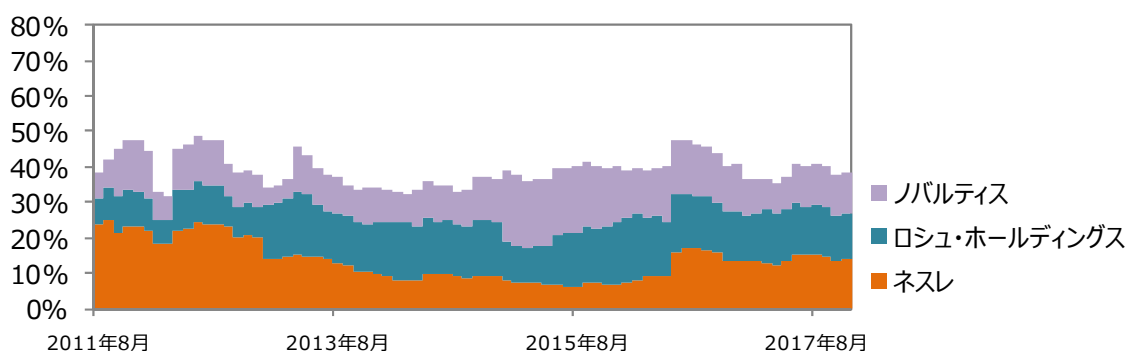
売買回転率はマザーファンドベース。

計算式・・・過去1年間における購入総額と売却総額のうち小さい方／過去1年間の純資産総額の平均

1-13. 保有上位3銘柄における過去の保有比率の推移は？

→2017年11月30日時点における保有上位3銘柄の保有比率の推移は下記の通りです。

【 保有上位3銘柄の保有比率の推移 】



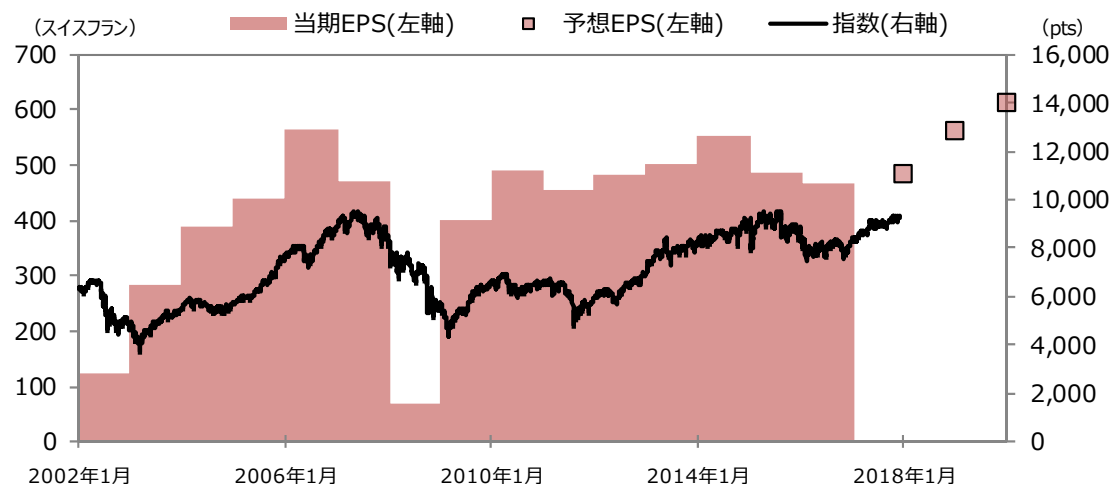
・期間： 2011年8月 ～ 2017年11月 (月末時点)

株価動向、見通し等によって変動はありますが、概ね安定していることが見てとれます。

1-14. スイス企業の業績推移と今後の予想は？

→スイス企業のEPS(一株あたり利益)や株価の推移は下記の通りです。

【 スイス株式指数のEPSと株価の推移 】



・出所： トムソン・ロイターより作成

・期間(指数)： 2002年1月1日 ～ 2017年11月30日

・期間(当期EPS)： 2002年度 ～ 2016年度

(当期EPSは暦年化したFY0予想の加重平均値≒実績EPS(ロールオーバー直前値)、週次データ)

・2017年度以降の予想EPSは 2017年11月30日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

指数やEPSはスイス株式指数のSMI(スイス・マーケット・インデックス)ベース。

スイス株式指数における、今期、来期、再来期の予想EPS成長率は、+3%、+16%、+9%となっています。

1-15. スイス株式指数と他資産指数の相関係数は？

→相関係数とは、たとえば2資産の関係を示す指標で、▲1～1の間の数字で示されます。資産Aと資産Bの相関係数が1.0であるということは資産Aが10%上昇したときに資産Bも10%上昇するような関係性、相関係数が▲1.0であるということは資産Aが10%上昇したときに資産Bは10%下落するような関係性を示します。相関係数が0であるときは両者の間に関係性がないこと(無相関)を示します。

相関係数が低いほど、両者を保有することで分散効果が効きやすくなり、保有資産のリスク低減効果が期待できます。

現地通貨ベースでの相関係数は下記の通りです。

日本株式	米国株式	欧州株式	インド株式	トルコ株式	中国株式
0.56	0.69	0.69	0.32	0.21	0.26

グローバルREIT	米国REIT	J-REIT
0.44	0.40	0.32

世界債券	日本債券	オーストラリア債券	米国 ハイイールド債券	欧州 ハイイールド債券	アジア ハイイールド債券
▲0.11	▲0.17	▲0.28	0.52	0.55	0.37

円換算ベースでの相関係数は下記の通りです。

日本株式	米国株式	欧州株式	インド株式	トルコ株式	中国株式
0.76	0.84	0.86	0.67	0.51	0.52

グローバルREIT	米国REIT	J-REIT
0.79	0.69	0.42

世界債券	日本債券	オーストラリア債券	米国 ハイイールド債券	欧州 ハイイールド債券	アジア ハイイールド債券
0.51	▲0.28	0.73	0.80	0.84	0.78

・出所: Bloombergより作成

・計測期間: 2010年1月 ~ 2017年11月

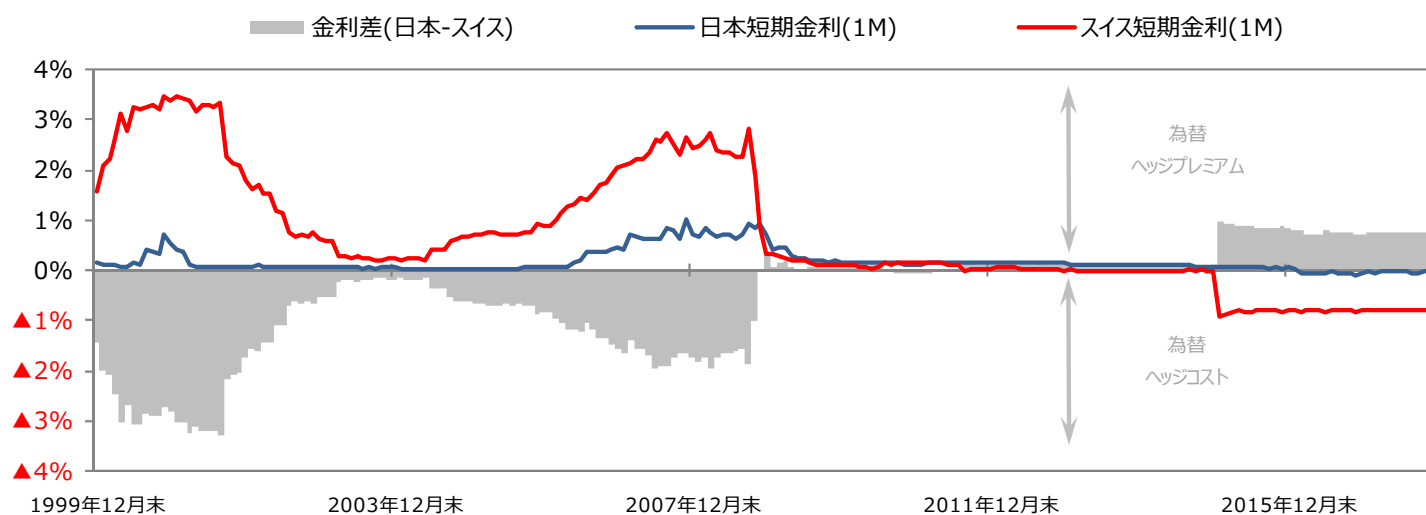
・スイス株式: SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、日本株式: TOPIX(配当込み)、米国株式: S&P500指数(TR)、欧州株式: EURO STOXX 50指数(TR)、インド株式: SENSEX指数(TR)、トルコ株式: イスタンブール100種指数、中国株式: 中国上海総合指数、グローバルREIT: S&P Global REIT USD Total Return Index、米国REIT: FTSE NAREIT Equity REITs Total Return Index USD、J-REIT: 東証REIT(配当込み)、世界債券: FTSE Non-JPY WGBI LCL、日本債券: BPI Total Index、オーストラリア債券: FTSE Australia GBI LCL、米国ハイイールド債券: ICE BofAML・USハイイールド・マスター II・コンストレインド・インデックス、欧州ハイイールド債券: ICE BofAMLヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、アジアハイイールド債券: JPMorgan・アジア・クレジット・インデックス(B B格以下・社債)

1-16. 為替ヘッジコストはどのくらい？

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)のみに該当

→現在はスイスの短期金利が日本の短期金よりも低いため、為替ヘッジによるプレミアムの獲得が期待できる状況となっています(2017年11月30日時点：0.77%)。

【 スイスと日本の短期金利と為替ヘッジコストの推移 】



・出所： Bloombergより作成

・期間： 1999年12月末 ～ 2017年11月末

上図は、あくまでも簡便法*によって算出された試算値であり、実際の値とは必ずしも一致しません。

*簡便法は、為替取引によるプレミアム/コストを、(日本円の短期金利) - (スイスフランの短期金利)で算出する方法です。ただし、当該通貨に対する市場参加者の期待や需給等により、その取引価格に反映する為替取引によるプレミアム/コストは、金利差から理論上期待される水準と大きく異なる場合があります。

【 2.組み入れ銘柄について 】

2-1.組み入れ上位銘柄名や概要が知りたい

→前月末時点の組み入れ上位10銘柄については、毎月第8営業日目を目処に発行しているスイスGLの月次レポートをご覧ください(夕方頃に当社HPに掲載されます)。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

…<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0919/price.html>

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)

…<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0981/price.html>



<1ページ目>
保有上位10銘柄の銘柄名、業種、構成比率など

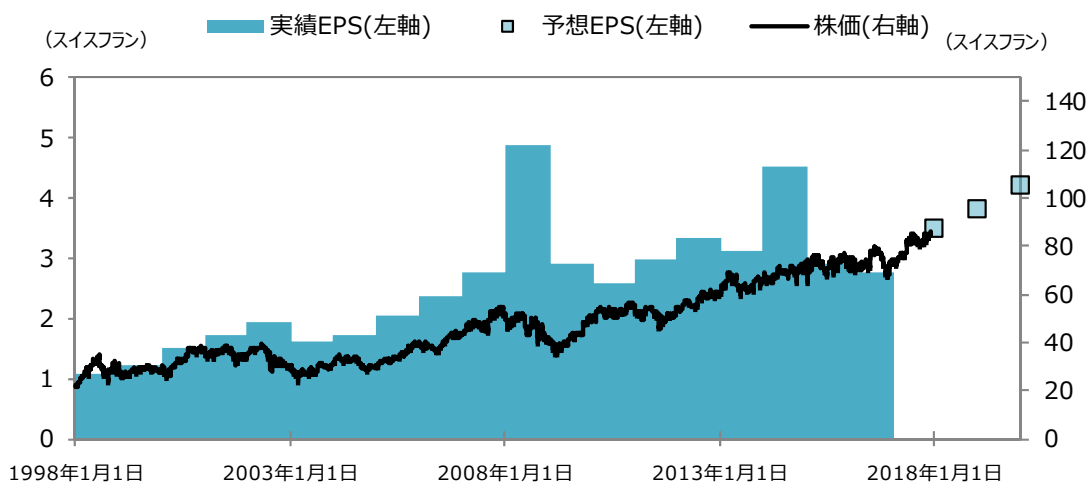


<2ページ目>
保有上位10銘柄の銘柄紹介

2-2.ネスレの企業業績と今後の予想は？

→EPS(一株あたり利益)や株価の推移は下記の通りです。

【 ネスレのEPSと株価の推移 】



今期、来期、再来期の
予想EPS成長率は、
+27%、+9%、
+11%となっています。

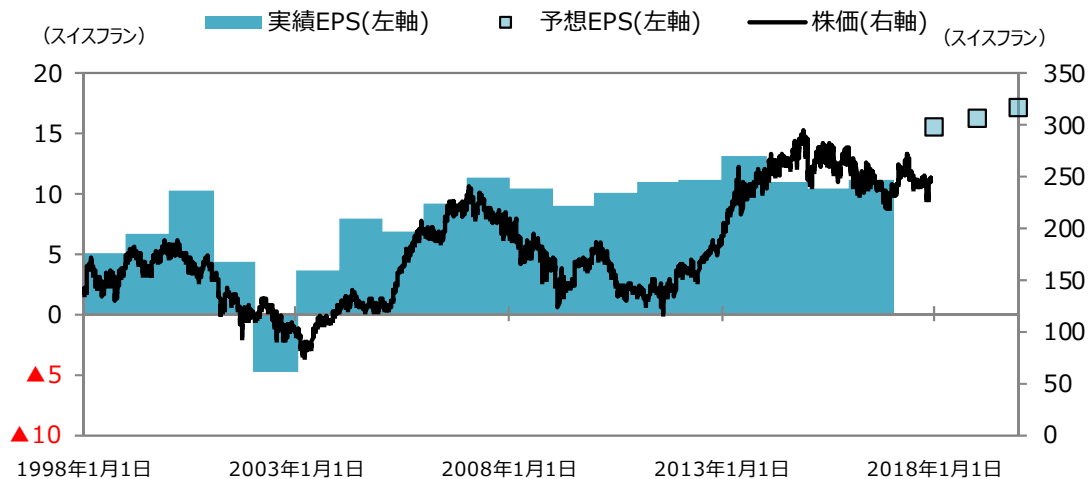
- ・出所：トムソン・ロイターより作成
- ・期間(株価)： 1998年1月1日 ~ 2017年11月30日
- ・期間(実績EPS)： 1998年度 ~ 2016年度
- ※2017年度以降の予想EPSは 2017年11月30日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

2-3.ロシュ・ホールディングスの企業業績と今後の予想は？

→EPS(一株あたり利益)や株価の推移は下記の通りです。

【 ロシュ・ホールディングスのEPSと株価の推移 】



今期、来期、再来期の
予想EPS成長率は、
+38%、+6%、+5%
となっています。

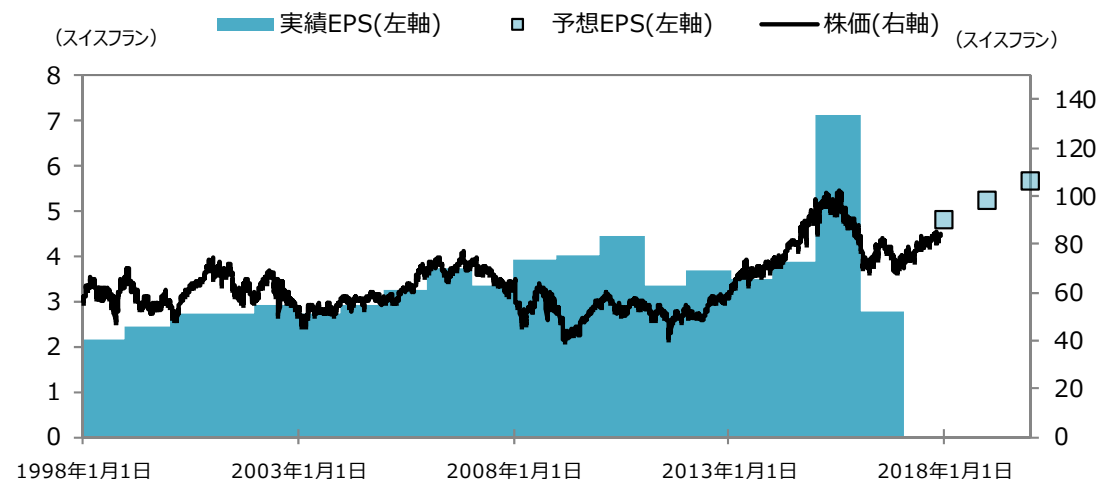
- ・出所：トムソン・ロイターより作成
- ・期間(株価)： 1998年1月1日 ~ 2017年11月30日
- ・期間(実績EPS)： 1998年度 ~ 2016年度
- ※2017年度以降の予想EPSは 2017年11月30日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

2-4.ノバルティスの企業業績と今後の予想は？

→EPS(一株あたり利益)や株価の推移は下記の通りです。

【 ノバルティスのEPSと株価の推移 】



今期、来期、再来期の
予想EPS成長率は、
+72%、+9%、+8%
となっています。

- ・出所：トムソン・ロイターより作成
- ・期間(株価)： 1998年1月1日 ~ 2017年11月30日
- ・期間(実績EPS)： 1998年度 ~ 2016年度
- ※2017年度以降の予想EPSは 2017年11月30日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

【 3.分配金について 】

3-1.次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？

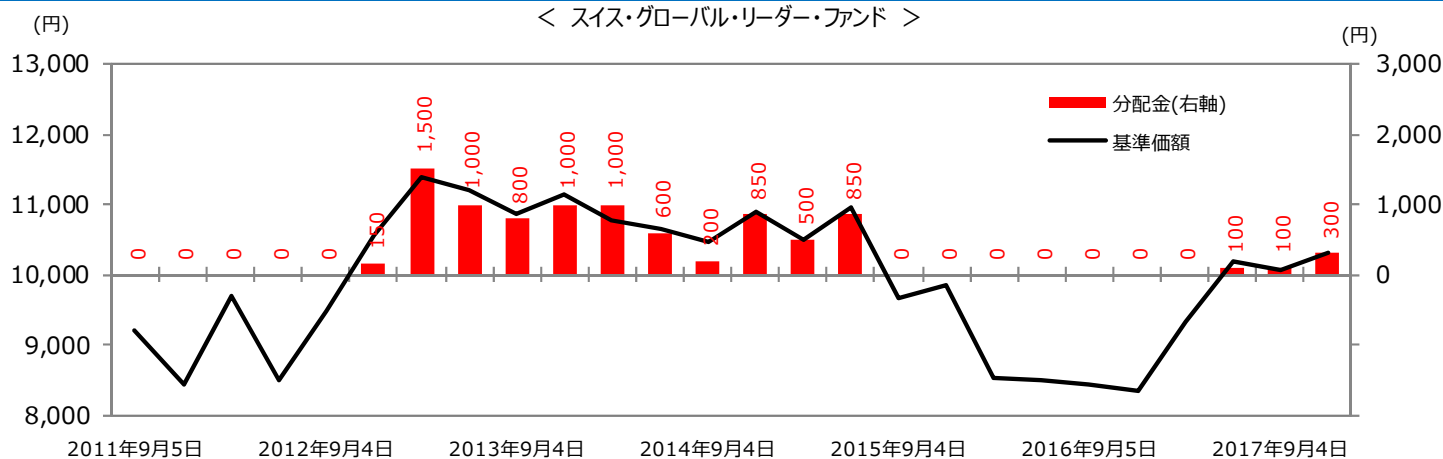
→スイスGLでは、決算期におけるファンドの運用成果をもとに分配を行うことを目指しており、決算日の基準価額が確定するまでは分配金は決まりません。

上記はあらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。各決算日にかけて基準価額が急激に変動した場合等には、委託会社の判断で分配が行われない場合があります。収益分配金額は、委託会社が分配方針に基づいて決定します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、また必ず分配を行うものではありません。

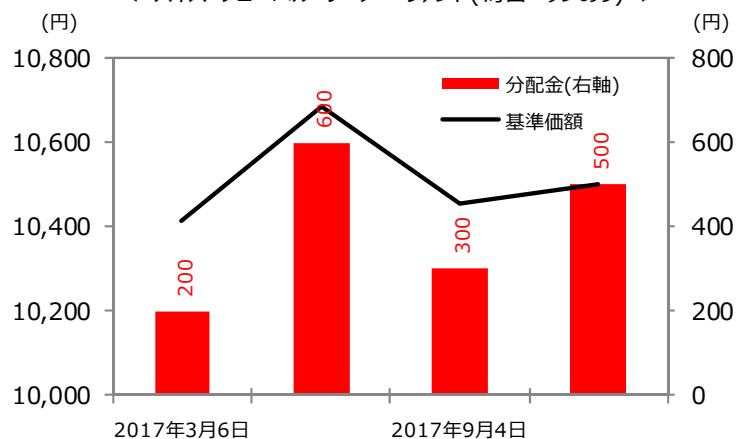
3-2.これまでの分配実績は？

【 設定来の分配金実績 】

< スイス・グローバル・リーダー・ファンド >



< スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり) >



- ・基準日： 2017年12月4日
- ・直近決算日： 2017年12月4日
- ・設定来の累計分配実績：
 - スイス・グローバル・リーダー・ファンド： 8,950円
 - スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)： 1,600円
- ・次回決算日： 2018年3月5日
- ・スイスGLの決算日は、原則として3・6・9・12月の各4日
(休業日の場合は翌営業日)

3-3.分配可能原資はどこでわかる？

→年に2回発行している「交付運用報告書」および「運用報告書(全体版)」において、各決算日時点の分配可能原資を翌期繰越分配対象額として記載しています。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

■分配金
収益分配金については、基準価額水準や市場動向等を勘案し、合計100円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳> (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第23期	第24期
	2016年12月6日 ～2017年3月6日	2017年3月7日 ～2017年6月5日
当期分配金	—	100
(対基準価額比率)	—%	0.97%
当期の収益	—	100
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	733	728

(注1)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 期末値は切り替っており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

2017年6月5日における翌期繰越分配対象額は728円となっています(分配金のお支払い後)。

スイスGLでは決算期におけるファンドの運用成果をもとに分配を行うことを目指しており、分配可能原資の全てを配当金に充てるわけではありません。

3-4.普通分配金なのか特別分配金なのか？

→スイスGLから受け取った分配金が、税金のかかる普通分配金^{*1}であるのか、税金のかからない特別分配金^{*2}であるのかは、受益者の皆様をご購入された時期等によって異なります。詳細については、お手数ですがスイスGLをご購入された販売会社様にお問い合わせください。

^{*1}普通分配金とは、分配金が支払われた際、分配落ち後の基準価額が個別元本(※)と同額または上回る場合をいい、全額が所得税、住民税の対象となります。

^{*2}特別分配金(元本払戻金)とは、分配金が支払われた際、分配落ち後の基準価額が個別元本(※)を下回る部分に相当する金額をいい(残余の部分は普通分配金)、非課税となります。

(※)個別元本とは、追加型株式投資信託において、受益者の皆様が保有されているファンドの取得時の平均投資元本で、解約・償還時の税額計算の基礎となります。同一ファンドを同一預り区分で複数回購入した場合は、そのつど個別元本の計算(加重平均による再計算)が行われます。また特別分配金(元本払戻金)を受け取った場合にも調整されます。

3-5.分配金を受け取った方がいいか、それとも再投資したほうがいいか？

→スイスGLからの配当金を再投資した場合、その後のトータルリターン(分配金を加味した基準価額の変動率)がプラスであれば、再投資した分配金からの複利効果により、分配金を受け取った場合に比べて評価益額が大きくなる傾向にあります。例えば、スイス・グローバル・リーダー・ファンドを設定日(2011年9月30日)に100万円投資して2017年11月30日まで保有していた場合、分配金を受け取っていただければ合計損益額(評価損益額+受け取り分配金の合計)は+約92万円ですが、分配金を再投資していた場合は+約126万円となっています。また、スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)を設定日(2016年12月21日)に100万円投資して2017年11月30日まで保有していた場合、分配金を受け取っていただければ合計損益額(評価損益額+受け取り分配金の合計)は+約20.9万円ですが、分配金を再投資していた場合は+約21.7万円となっています。

諸経費、分配金の税金、売却時の税金等は考慮していませんので、実際の損益額とは異なる場合があります。また、分配金再投資後のトータルリターンがマイナスであれば、分配金を受け取っていた場合より合計損益額が少なくなる場合もあります。

3-6.分配金はいつ発表される？

→スイスGLの分配金は、決算日の午後6：00頃に基準価額と共に当社HPへ掲載されます。

早ければ午後5：00過ぎに発表できる場合もありますが、遅ければ午後8：30頃になる場合もあります。

【 4.基準価額の変動要因分析について 】

4-1.基準価額の変動要因が知りたい

→毎月第1営業日目の夕方頃を目処として、当社HPにスイスGLにおける前月末時点の基準価額についての変動要因レポートを掲載しています。

当社HP(<http://www.sjnk-am.co.jp/>)から、「ファンド情報」→「基準価額一覧」より、「スイス・グローバル・リーダー」または「スイス・グローバル・リーダー（為替ヘッジあり）」をクリックして各ファンドページに移動。

こちらをクリックすると、直近の要因分析レポートがダウンロードできます。

下記は分配金のお支払い後の基準価額における要因分析レポートの一部です。当要因分析レポートでは税引前分配金を再投資したベースの基準価額の変動要因分析についても掲載しています。

項目	前月末	当月
スウェーデン・ユーロ・ユーロ・ユーロ	7,617	+115
スウェーデン	+5,938	+95
ユーロ・ユーロ・ユーロ	+1,679	+20
為替変動	+2,606	+15
分配金	▲8,650	+0
運用損益	▲1,139	▲16
その他	+143	+6
基準価額の変動	+577	+120

項目	前月末	当月
スウェーデン・ユーロ・ユーロ・ユーロ	2,320	+121
スウェーデン	+2,071	+100
ユーロ・ユーロ・ユーロ	+249	+21
為替ヘッジ	+64	+7
分配金	▲1,100	+0
運用損益	▲183	▲16
その他	▲100	+2
基準価額の変動	+993	+114

【 5.ファンドの設計・構造等について 】

5-1. スイスGLの信託期間が短い理由は？

→当社が設定する公募ファンドについては、多くの場合、信託期間を5年と設定して延長していくことにしています。そのため、スイスGLについても信託期間が5年未満となっていますが、純資産総額の減少によって運用を続けることが困難な状況になった場合や受益者の皆様に不利益となる状況となったことが判明した場合等を除き、信託期間を延長していくことを考えています。

5-2. 現時点で償還を検討している？

→スイスGLにおいては、現時点で満期償還または繰り上げ償還を検討してはいません。

5-3. 信託期間の延長はいつ決まるの？

→信託期間を延長する場合、少なくとも信託期間満了日の3ヶ月前までに当社HPへその旨を開示しています。最近では1年半～半年前に信託期間を延長することを開示するケースが多くなっています。

5-4. 信託期間を延長しないのはどういう場合？

→なるべく信託期間を延長していきたいと考えていますが、純資産総額の減少によって運用を続けることが困難な状況になった場合や受益者の皆様に不利益となる状況となることが予想されることが判明した場合等は、信託期間を延長せずに満期償還または繰り上げ償還を検討することになります。

5-5. どのくらいの純資産総額があれば運用できると考えている？

→運用環境、運用状況等にもよりますが、現時点ではスイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)の純資産総額の合計額が少なくとも10億円以上あれば運用に問題はないと考えています。

2017年11月30日現在、スイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)との合計で200億円以上の純資産総額があるため、当面は運用に支障をきたすことはないと考えています。

5-6. 信託財産留保額って何？

→解約を受け付けた際に、信託財産留保額として基準価額の0.3%が差し引かれます。この信託財産留保額は販売会社様や運用会社が受け取るものではなく、引き続きスイスGLを保有し続ける受益者の皆様に迷惑がかからないようにするためにファンドに還元する費用です。

解約する受益者の皆様に解約代金を支払うためには、ファンドが保有する資産を売却する必要があり、そのためには売買等のコストがかかります。解約することに伴って発生するコストであるため、解約する受益者の皆様に負担してもらう仕組みになっています。

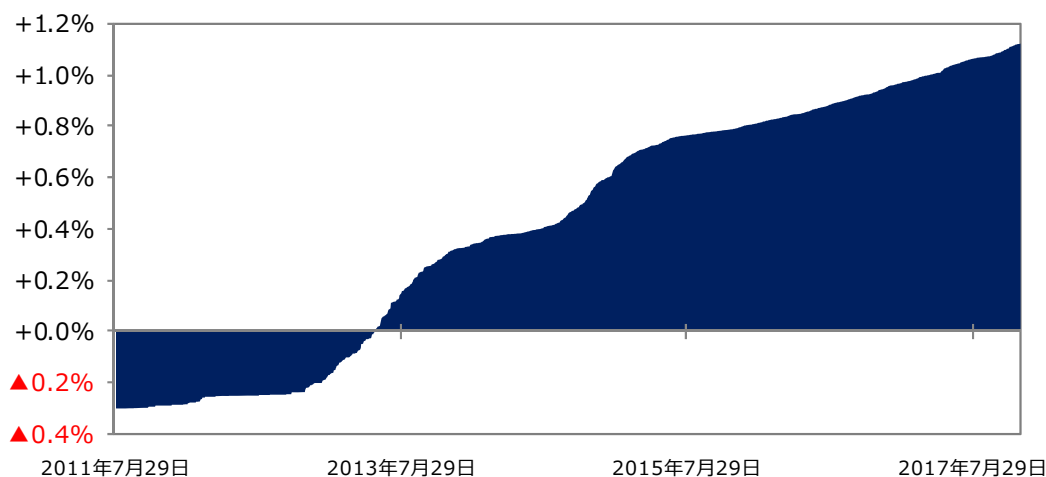
5-7. 信託財産留保額があるファンドは受益者にとって不利？

→ファンドの中には、解約時に信託財産留保額がかかるものがあればかからないものもあり、スイスGLでは信託財産留保額を0.3%に設定しています。

解約が多いファンドほど解約を行った受益者の皆様からの信託財産留保額がファンドに溜まっていくため、ご自身が解約を行って信託財産留保額を支払った場合においても、受け取っていた信託財産留保額の方が多かったということがあり、ファンドを長期間保有した受益者の方ほど、支払う信託財産留保額よりも受け取っていた信託財産留保額の方が多いという可能性が高まる傾向にあります。

たとえば、スイス・グローバル・リーダー・ファンドを設定日(2011年7月29日)に購入していた場合、下記の通り、2年弱の保有で支払う信託財産留保額よりも受け取っていた信託財産留保額が多くなりました。また、2017年11月30日まで保有していれば、信託財産留保額が設定されていなかった場合に比べて、解約時の受け取り額が1%以上多かったということになっていました。

【 信託財産留保額があったことによる受け取り金額の違い 】



過去においては、信託財産留保額が設定されていることにより、長期保有すればするほど、信託財産留保額が設定されていなかった場合と比較して、売却時の受け取り金額が多くなる傾向がありました。

・期間：2011年7月29日 ～ 2017年11月30日

※途中解約による信託財産留保額支払後ベース、税引前受取金額における比率

信託財産留保額の積み上がりは、他の受益者の方々がどれほど解約されたかに依存します。上記は過去の実績に基づいて当社が簡易的な方法で計算した結果であり、今後の見通しを示唆あるいは保証するものではありません。

5-8. 解約が増えることで純資産総額が減少すると基準価額も下がる？

→スイスGLの発行口数は決まっておらず、株式のように需給バランスによって基準価額が変動するわけではありません。基準価額は組み入れている資産の値動きや為替変動等によって決まるため、スイスGLの解約が進むことで純資産総額が減少している場合においては、それが直接的に基準価額の下落につながることはありません。

また、スイスGLでは解約時に信託財産留保額(0.3%)を設定することで、解約に対応するためにスイス株式を売却することによるスイス株式の需給軟化へ備えており、解約が増えることで純資産総額が減少することによる基準価額への影響ほとんどないと考えています。

5-9.基準価額にはいつ時点の株価や為替が反映されている？

→原則として、組み入れ銘柄の株価は基準日の前営業日(スイス時間)の終値、為替は投資信託協会が発表している日本時間で当日午前10:00の為替レート(TTM)が反映されています。

たとえば、2017年11月30日の夕方に発表される基準価額は、株価がスイスでの2017年11月29日の終値、為替は日本時間2017年11月30日午前10:00の為替レートが反映されることとなります。

5-10.為替ヘッジありと為替ヘッジなしの間でのスイッチングは可能？

→為替ヘッジを行っていないスイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)の間でのスイッチング可否については、販売会社様によって異なりますので、お手数ですが販売会社様にお問い合わせください。

5-11.基準価額が10,000円を大きく上回っていない理由は？

→スイスGLでは、基準価額が10,000円を上回る部分の大半を決算日に分配金としてお支払いしています。そのため、基準価額が10,000円を大きく上回る状態が続くことはあまりありません(前掲「3-1.次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？」をご参照ください)。

現在の基準価額も10,000円を大きく上回ってはいませんが、分配金を支払っていなかった場合の基準価額は22,000円程度になっており、当社HPで確認することが出来ます。



当社HPより抜粋。
赤色折れ線が分配金をお支払いした後の基準価額、青色折れ線がトータルリターンを示す税引前分配金再投資ベースの基準価額です。

5-12.購入手数料は販売会社によって違うの？

→当社では購入手数料の上限のみを決めています(税込み：3.78%)。販売会社様によって購入手数料が異なることがありますので、お手数ですが販売会社様にお問い合わせください。

5-13. 1日あたりの信託報酬額はどのくらい？

→スイスGLファンドの信託報酬は税込み年率1.8144%であり、基準価額が10,000円だとすると、1日あたりでは0.5円程度となります。

5-14.ファンドの設定や解約の申し込みを受付けない日は？

→スイス証券取引所の休業日においては、お申し込みを受け付けていません。

2017年のお申し込み不可日は下記の通りです。

4月14日(金) Good Friday
4月17日(月) Easter Monday
5月 1日(月) Labour Day
5月25日(木) Ascension Day
6月 5日(月) Whitmonday
8月 1日(火) National Day
12月25日(月) Christmas
12月26日(火) St. Stephen's Day

2018年のお申し込み不可日は下記の通りです。

3月30日(金) Good Friday
4月 2日(月) Easter Monday
5月 1日(火) Labour Day
5月10日(木) Ascension Day
5月21日(月) Whitmonday
8月 1日(水) National Day
12月25日(火) Christmas
12月26日(水) St. Stephen's Day

【 6.その他 】

6-1.代表的なスイス株式指数とは？

→代表的なスイス株式指数として、SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、SMI(スイス・マーケット・インデックス)などがあります。

- ・SPIは電子取引システムで取引されるスイス企業株約300銘柄からなるトータルリターン指数で、1987年6月1日を基準日とし、その日の時価総額を1000として算出されています。
- ・SMIは電子取引システム上場の時価総額および流動性が最も高い銘柄(2017年11月30日時点で20銘柄)で構成される時価総額加重平均指数で、指数値計算には浮動株が使用されています。1988年6月30日を基準日とし、その日の時価総額を1500として算出されています。

スイスGLではベンチマークを設定していないものの、SPIを参考指標としています。ただし、SPIでは予想EPS(一株あたり利益)などが取得できないことがあるため、その場合はSMIを参考指標とすることもあります。

6-2.ネットでスイス株式指数の価格や為替レートを確認する方法は？

→スイス株式指数の価格はBloomberg社のHP、為替レートはみずほ銀行のHPで確認することができます。

- SPI … <https://www.bloomberg.co.jp/quote/SPI:IND>
- SMI … <https://www.bloomberg.co.jp/quote/SMI:IND>
- 為替レート* … <https://www.mizuhobank.co.jp/rate/market/quote/index.html>

*スイスGLで使用する為替レートは投資信託協会が発表している日本時間で当日AM10:00の為替レート(TTM)であり、為替相場が大きく動いている場合等においては、上記の為替レートと異なることがあります。

6-3.基準価額は何時に発表されるの？

→スイスGLの基準価額は、午後6：00頃に当社HPへ掲載されます。

早ければ午後5：00過ぎに発表される場合もありますが、遅ければ午後8：30頃になる場合もあります。

6-4.日経新聞の掲載名は？

→日経新聞の掲載名は下記の通りです。

- スイス・グローバル・リーダー・ファンド …「スイス株」
- スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり) …「スイス株あり」

日経新聞以外の新聞においては4文字以内の名称しか掲載されないため、上記の掲載名とは異なることがあります。

6-5.日経新聞以外の新聞には基準価額が掲載されていないの？

→日経新聞以外においては、共同通信社で計算した純資産総額上位200または上位300ファンドの基準価額のみが掲載されており、現時点においてはスイスGLの基準価額は掲載されていません。

共同通信社では毎年3・6・9・12月末基準でその翌月に純資産総額上位ファンドの更新が行われているようです。

6-6. スイスGLについて教えて欲しいことがある場合はどこに問い合わせればいいのか？

→当社では下記フリーダイヤルでお客様や販売会社様からのお問い合わせに対応しています。

0120-69-5432 (通話料無料)

受付時間：営業日の午前9：00～午後5：00

6-7. このファンドを購入して以来、どのくらいの損益額になっているのかが知りたい

→当社ではお客様のご購入時期や金額等の情報をもっておりません。上記フリーダイヤルにお問い合わせ頂いて期間等をご指定頂ければ、基準価額や税引前分配金再投資ベースの基準価額に基づく概算値ベースの収益率をお伝えすることは可能ですが、購入手数料や税金等を加味した正確な損益額については、お手数ですがご購入された販売会社様にお問い合わせください。

6-8. 先月の市場動向、運用状況、今後の見通しが知りたい

→先月の市場動向、運用状況、今後の見通しについては、毎月第8営業日目を目処に発行しているスイスGLの月次レポートをご覧ください(夕方頃に当社HPに掲載されます)。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

…<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0919/price.html>

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)

…<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0981/price.html>

月次運用レポート



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

基準日：2017年10月31日

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

ファンドマネージャーコメント

○先月の市場動向

10月のスイス株式市場(SPI指数)は、1.50%(現地通貨ベース)の上昇となりました。1日に実施された、スペイン・カタルーニャ州の独立を巡る住民投票で賛成が約9割を占めたことから、今回の投票を遑急とするスペイン中央政府と同州との間で緊張が高まりましたが、欧州の主要株式市場がユーロ安等を背景に総じて上昇する中、スイス株式市場も買われる展開となりました。その後も、9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨で、インフレ率低迷への懸念が示されたことが明らかになると、今後の利上げペースが緩やかになるとの思惑等を背景に米国で株式市場が上昇する中、スイス株式市場は続伸しました。

月後半に入ると、スペイン・カタルーニャ州の一部自治権を停止する手続きを進めるとスペイン中央政府が発表したこと等が嫌気され、売りに押される局面もありました。また、ヘルスケア大手のノバルティスが、不振が続く眼科向け部門アルコンのスピンオフ(分離・独立)の決定を先送りしたことや、ジェネリック(後発医薬品)部門についてより慎重な見直しを示したこと等が嫌気され、株価が大幅安となり、同じくヘルスケア大手のロシュ等も連れ安する中、スイス株式市場は続伸しました。

しかしその後、ECB(欧州中央銀行)が定例理事会にて、量的金融緩和の延長および規模縮小を決定する一方、必要に応じて規模を拡大できるとしたほか、資産買入れ終了まで政策金利を引き上げないことを再確認したこと等を好感し、欧州株式市場が大きく値を上げる中、スイス株式市場も月末にかけて上昇しました。

為替市場では対ドル、対円でスイスフランが下落しました。

○先月の運用状況

10月は、売上拡大基調が勢いを増していること等から、フレーパー・フレグランスの製造・開発のジボタンを組み入れました。また、高級品需要が世界で回復していること等を背景に、時計メーカーのスウォッチの組み入れ比率を引き上げました。一方、欧州における雇用情勢改善ペースが遅いこと等を背景に、人材紹介のアデコを全売却しました。

当ファンドの騰落率は、スイス株式市場が上昇した一方、対円でスイスフランが下落したこと等から、+0.12%とほぼ横ばいとなりました。

○今後の見通し

主要国を中心にグローバル経済は安定成長が続いています。10月は、主要国の株式市場で年初来高値を更新し、リスク選好が強まる相場展開となりました。スペイン等では、引き続き政治的混乱が見られましたが、投資家は、グローバル経済のファンダメンタルズに着目しています。今後の株式市場の動向を占う意味で注目されたECBの理事会では、量的金融緩和の延長および規模縮小が決定された一方、当面は緩和的なスタンスを続ける姿勢が再確認されました。2008年の金融危機後の景気拡大が継続する中、そろそろ株式の強気相場は最終局面に差し掛かっていると指摘する向きもありますが、企業業績は世界的に概ね良好であり、スイス株式市場は堅調に推移すると見込まれます。

特定の分野で世界No.1のスイス企業の中長期的な潜在成長力、業績や株価等を考慮すると、スイス株式市場の上値余地は引き続き大きいと判断しています。各中央銀行の金融政策や、各国のマクロ経済動向には注視しつつ、個別企業のボトムアップ分析に注力し運用を行います。

(運用委託先からの情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成)

月初第8営業日目を目処に発行される月次レポートの3ページ目に掲載されています。

ファンドの主なリスクと留意点

《基準価額の変動要因》 くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)にて必ずご確認ください。

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆価格変動リスク

株式の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク

株式の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)

当ファンドは原則として、外貨建資産に対して、為替ヘッジを行いますが、全ての為替変動リスクを排除できるものではありません。また円金利よりも金利水準の高い通貨の為替ヘッジを行った場合、金利差に相当するヘッジコストが発生し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆銘柄集中投資のリスク

ファンドの投資対象には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

《その他の留意点》

- ◆クーリングオフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用はありません。
- ◆収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ◆マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対するエクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込不可日	スイス証券取引所の休業日においては、お申込みの受付ができません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
信託期間	平成33年6月4日まで(設定日「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」：平成23年7月29日／「スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)」：平成28年12月21日) ※委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則3月、6月、9月、12月の各4日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時(年4回)、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。 ※分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

その他の項目につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客さまにご負担いただく手数料等について

購入時手数料	購入価額に 3.78%(税抜3.5%) を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.8144%(税抜1.68%) を乗じた額です。 運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ◆監査費用 ファンドの日々の純資産総額に定率(年0.00756%(税抜0.007%))を乗じた額とし、実際の費用額(年間27万円(税抜25万円))を上限とします。なお、上限額は変動する可能性があります。 ◆その他の費用※ 売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等 ※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの委託会社およびその他の関係法人の概況

委託会社	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者(登録番号:関東財務局長(金商)第351号)であり、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。信託財産の運用指図等を行います。 電話:0120-69-5432(受付時間:営業日の午前9時から午後5時) ホームページ・アドレス: http://www.sjnk-am.co.jp/
受託会社	みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社:資産管理サービス信託銀行株式会社) 信託財産の保管等を行います。なお、信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行に委託することができます。
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社において行います。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

■ 販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

2017年11月30日 現在

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○		
日本アジア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第134号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
三木証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第172号	○				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○			
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○				
浜銀TJ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○				
光証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第30号	○	○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○				
株式会社三菱東京UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号			○	○	
株式会社三菱東京UFJ銀行(委託金融商品 取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
株式会社ト三菱銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○				

<備考欄の表示について>

- ※ 1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※ 2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※ 3 新規のお取扱いを行っておりません。

<ご留意事項>

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド（為替ヘッジあり）

■ 販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

2017年11月30日 現在

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○	
日本アジア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第134号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○				

<備考欄の表示について>

- ※ 1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※ 2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※ 3 新規のお取扱いを行っておりません。

<ご留意事項>

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

当資料は損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社（以下、弊社）により作成された情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なりリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本、分配金の保証はありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見等は予告なしに変更する場合があります。また、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。投資信託の設定・運用は委託会社が行います。お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、詳細をご確認の上、お客さま自身でご判断ください。なお、お客さまへの投資信託説明書（交付目論見書）の提供は、販売会社において行います。